

令和2年度第1回いわて県民情報交流センター（アイーナ）指定管理者選定・評価委員会  
議事録

日時

令和2年8月7日（金） 13：30～15：00

場所

いわて県民情報交流センター（アイーナ）研修室 810

出席者

区分	所属	職名	氏名
委員 (50音順)	岩手弁護士会	弁護士	佐藤 あすか
	一般社団法人岩手県建築士会盛岡支部	副支部長	武田 裕次
	特定非営利活動法人 accomon	理事長	成田 礎野美
	公立大学法人岩手県立大学総合政策学部	教授	吉野 英岐
事務局	岩手県環境生活部若者女性協働推進室	特命参事兼連携協働課長	高田 聡
		主任主査	加藤 肇
		主任主査	渕上 恭子
指定 管理者	統括グループ	統括責任者	越田 仁孝
		維持管理業務総括責任者	高橋 ひとみ
	運営グループ	運営業務総括責任者	藤澤 剛彦
		運営業務責任者	坂野 敬
	維持管理グループ	維持管理業務責任者	田中 直樹
		前維持管理業務責任者	菅野 清志
	清掃グループ	清掃業務責任者	田中 義夫
	警備グループ	警備業務責任者	大坪 隆行

傍聴者

なし

## 1 開会

## 2 挨拶（高田特命参事兼連携協働課長）

## 3 委員紹介

## 4 委員長・副委員長互選

事務局の進行により、委員長及び副委員長を互選、委員長に吉野委員、副委員長に武田委員が選出されたこと。

以下、吉野委員長の進行により審議を行った。

## 5 議事

### （1）報告事項 ア 前回（平成 30 年度業務）評価への対応について

（事務局及び指定管理者から資料 1-1、1-2 により説明）

#### 【質疑応答】

- 吉野委員長 資料 1-2 の最終ページの写真について、分かりやすく説明して欲しい。
- 指定管理者 予算が確保されたものについて、ダウンライトと普通の長い照明（蛍光灯）について順次 LED に変更している。資料右下の写真は、提案中の LED 製品である。計画では、会議室等のスポットライトをこのような製品にしていく予定である。
- 武田副委員長 提案のような器具全体交換ではなく、LED の玉を変えるだけでも省エネには効果があると思うが、どう考えているか。
- 指定管理者 玉だけの交換ができる箇所については、全て交換が終わっている。一部、調光機能付きの照明については器具全体を交換したい。
- 武田副委員長 経年劣化への対応に当たっての修繕工事への立会等について、実際に指定管理者で何日くらい立ち会ったのかが資料では見えてこないが、前回の委員会で、夜間や年末に連続して立会があったという話があったと思う。昨年度は、調整されたのだと思うが、状況を教えて欲しい。
- 指定管理者 一昨年までは、発注時期等がバラバラだったので、立会の日の調整がしづらかったが、今回は、発注前の段階で、県と指定管理者で打ち合わせをして、大体の工期と発注時期を合わせていただいたことから、実際の立会も若干であるが減った。
- 武田副委員長 働き方改革ではないが、工事はこれからもどんどん増えていくから留意した方が良いでしょうとお話しさせていただいたと思うので、今後も注意していただければ。
- 今後、工事が増えたり、もしくは工事期間が長引いたり、工事の内容が大きいものになったりということがあられると思うので、県と相談をしていただいて立会の定数を守らないと厳しくなるかなと思う。

佐藤委員 資料 1-2 の働き方への対応について、令和 2 年度からの取組となっている目標管理制度の導入について、内容を教えてほしい。

指定管理者 運営チームで取り組んでいるが、個人のどういうキャリア等になりたいか、業務の中でどのように取り組みたいかという開発目標を短期中期的に設定し、それに関してできているかできていないかというようなことを上司上長が判断するとうのが大きな枠組みである。

こういった管理制度の運用はなかなか大変で、一つの特徴としては、減点や達成度という形ではなくて、加点制度での効果との連携という形での運用になっている。

仕事が多岐に渡っていることから、例えば開発目標としては、技術取得とか検定的なもの、また最近は増えてきているが動画作成等について、多岐に渡るスキルに関して、それぞれが持っている役割に対して何を開発したいかということをやっている。

## (2) 報告事項 イ 県及び指定管理者による自己評価の結果について

(事務局から資料 2 により説明)

### 【質疑応答】

佐藤委員 資料 2 の 7 ページ、②現在、苦慮している事項、今後、改善・工夫したい事項、積極的に取り組みたい事項の維持管理業務において、今年は例年になく暖冬にも関わらず、入居施設からの要望が多く寄せられたことから、積極的な省エネ効果が図ることができず、電気使用量が前年度より多くなったとあるが、これは、暑いとか寒いとかの要望次第で温度などを変えているということか。

指定管理者 会議室などお客様が利用している場所については、暑い寒いなどの要望に応じて温度を変更している。

佐藤委員 部屋毎の設定ではなくて、アイーナ全体を変えるということですか。

指定管理者 アイーナ全体ではないが、家庭の空調機と異なり、大きな空調機で複数の部屋の温度管理をしている。

昨年度は、冬の平均気温は例年より高かったものの、利用者からは寒いとの要望が多く、対応したところ前年度（平成 30 年度）より電気の使用量が増えた。

武田副委員長 維持管理業務の省エネ目標について、平成 26 年度比 11.2%削減とあるが、前回委員会の資料では、平成 22 年度からの削減だったが、変わったのか。

事務局 新しい指定管理期間（令和元年度から 5 年間）になったことから、変わっている。

武田副委員長 先ほど佐藤委員が言ったように、冬の暖房電気を使ったけれど、省エネ目標は達成したということで、何か、要因はあるか。

指定管理者 昨年度は、夏は前年度を若干上回って推移したので心配していたが、冬場に若干下がったこと、後は新型コロナの影響で、2月、3月に会議室のキャンセルが多かったことも要因として考えられる。

武田副委員長 新型コロナがなければ、目標達成が難しかったかもしれないか。

- 指定管理者           そこまでではないと思う。
- 成田委員           8 ページの県に対する要望、意見等のところで、Wi-Fi (アイスポット) についての記載がについて、私も、アイーナで Wi-Fi を利用することがあるが、つながり辛いことがある。アンテナの増設等、考えられるか。
- 事務局           アイーナの Wi-Fi を含む情報システムについて、今年度全面更新をする予定である。Wi-Fi が入りづらいエリアを解消するように、県民の皆様が利用する範囲について Wi-Fi が利用できるよう改修する予定である。
- 来年度の4月からは、今の状況よりはかなり改善されている状況になるのではと考えている。
- 成田委員           6 階の団体活動室の4 や3 で、つながり辛い箇所がある。場所によってではあるが、窓側に近寄ってつながるところを探すこともある。
- 吉野委員長  
指定管理者       Wi-Fi 環境を変えることは、初めてか。
- かなり初期の段階では、7 階や8 階の会議室、研修室のうち南側だけが Wi-Fi の対象であったが、改修を経て、7 階と8 階は全て使えるようになった。アンテナ自体はあるが、どうしても届かないところもある。
- 事務局           アイーナの情報システムは、基本的には5年に1回大きく更新しており、今年はその改修の年に当たっている。Wi-Fi に関しては、要望も非常に多いので、改善する予定としている。
- 武田副委員長       Wi-Fi の器具だけで、幹線は特に更新はないか。例えば、今は Web 会議をやることもあるが、古い幹線を使っていると速度が遅いということがある。そこまで、今回の改修には入っているか。
- 事務局           幹線全体を引き直すまではいかないが、ウェブ会議、いわゆる zoom などについて、現在、アイーナは使えない状況であるが、専用の回線を新たに引き直して、いくつかの会議室ではそういった zoom なども開放できるような、システム改修を予定している。
- 吉野委員長  
事務局           アイーナは、Web 会議が使えないのは、容量的な問題か。
- セキュリティに課題があり、使えない状況である。現在、アイーナは県庁と同様の基準のセキュリティで運用しており、今回は、新たに専用の回線を引くことによって、セキュリティを確保した上で Web 会議等も使えるようにという改修工事を行うことにしている。
- 武田副委員長       最近、Web 会議が多いので。アイーナでも使いたいという人もいる。
- 吉野委員長       県庁で、Web 会議ができない。なので、ある意味ではアイーナで Web 会議ができるようにしておかないと。アイーナでもやれることがあれば、使いたいという人は多いのではないか。
- 指定管理者       アイーナ会議室をキャンセルされた利用者さんに聞いてみると、かなり Web 会議にシフトされている。会議室を借りる費用でそういうインフラを整備するというお客様もいらっしゃる。事務所がない方が、こちらに来てやってもらえるような環境や、学会自体も Web 化の流れがあるので、そういった流れに乗り遅れないようにし

たい。

武田副委員長 その際に、回線速度があまり遅いと、会議をみんなでつないだらフリーズしてしまうと問題なので、どれぐらいの容量を用意するか。あまりかけてもお金がかかってしまうわけだけれども。

ウェブ会議やる時にはカメラなどを設置するが、貸し出しなどはやっているか。

指定管理者 まだ、そこまでの機材の準備は、ご提案していない。

武田副委員長 私も、Web 会議を実施したが、必要なカメラを個人で買うとなるとちょっと高い。有料でも良いのでアイーナでレンタルできれば、利用者があるのではなか。

本日の会議規模のものを実施したい時に、カメラなどの貸し出しがあればと思う。最近はそのような需要があるので、県と協議していただければと思う。

吉野委員長 こういった時代になってしまったので、今まではあまりそういうニーズがなかったと思うが、一定程度は対応していかざるを得ないし、多くの県民の方が使う施設なので、ニーズに応じていただければと思う。

大学でも同じような感じで、やはり電波が入りにくい。それから、一つの教室の中で、同時に、ある一定数までしかアクセスできない。それは、目的外の過度な利用を制限するためということだけれども、そこが改修されていない。大学にパソコンを持ってくる学生がすごく増えている。

多分仕事もそういうビジネスのスタイルになってきている。いざ、Wi-Fi を使おうとした時に、繋がらないとなると、これまでも問題にならなかった苦情も出てくるのかなと思う。

そういった Wi-Fi 環境は多くの利用者にとって、学会にとっても団体さんにとっても注目される場所である。注目度が今以上に出てくるので、丁寧な説明と機能の向上が大事。機能をアップしたらアップしたで、それをうまく説明して、適切な利用につないでいくかということも合わせてやらないといけないと思う。

ワイヤレスマイクが使えなくなるとういことについては。

指定管理者 現在、使っているマイクが使えなくなるので、交換すれば大丈夫です。

武田副委員長 電波法の関係で、古い周波数を使えなくなるもの。使うと違法になってしまう。マイクを交換するだけではなく、受信設備も更新が必要。

指定管理者 計画的に更新していく。

武田副委員長 止水板について、設置工事を実施したと思うが、周辺の浸水など防災マップ、ハザードマップを基に設計したのか、それとも、大雨の時に、飲み込めないで玄関口に来るのを防ぐため位のものであったか。

事務局 盛岡市が発行しているハザードマップで、アイーナのあるエリアについては、想定が 100 年に 1 度の大雨で、最大で 10 数メートル浸水する可能性があるということである。アイーナの場合は地下に主な機械設備が集中しており、浸水して地下に水が入ると、建物の機能がほぼストップするという事態を想定し、1 階の全ての出入口に、止水板を設置するための柱を設置して、最大で 150 センチぐらいの高さになるように、板を 3 段ぐらい設置して、浸水を防ごうとするもの。

その 150 センチというのは、既存の製品の最大の高さということで、浸水想定はもっと高いレベルまであるが、既存の止水板で対応できるのが 150 センチということであり、その最大値までの工事を昨年度行った。

実際の運用についてはこれから盛岡市とも相談しながら進めていきたいと思いません。

アイーナが、洪水時の避難場所に指定されている関係もあることから、出入口を塞ぐことによって、人の出入りを一部制限することになることから、運用の仕方についても、盛岡市と協議をしていきたいと思っている。

武田副委員長 1階に止水板を付けた際は、避難者は3階から入ってくるか。

事務局 止水板を設置するタイミングもあります。実際につけた後は3階から出入りする。避難も3階を使って行うということになる。

武田副委員長 短時間で大雨が降り、排水溝で飲み込める量には限界がある。よく見ていないと、管理室の中には分からないこともある。何か良い方法があれば良いと思う。局地的に降ることも多い。

指定管理者 雨量計等は設置していない。警報等について、メールで入ってくるようにはなっている。

武田副委員長 盛岡市内でも、止水板を設置しているような施設はないので、止水板を設置する前に、施設内に水が入ってきたというようなことがないように、運用方法を検討いただければと思う。

吉野委員長 重要な機能が地下にあるということで、適切に防御いただく必要がある。設置訓練もされたということで、引き続き、運用について検討いただきたい。

### (3) 協議事項 令和元年度業務の評価の実施方法について

(事務局から資料3により説明)

#### 【質疑応答】

吉野委員長 全体的には、前回と同じということである。委員会として本日の資料及び今後送付されてくる指定管理者と県の評価が入った資料を参考に評価していただくこととなる。

新型コロナウイルス感染症の影響などにより、第2回の委員会に来られない委員がいた場合の代替手段は考えているか。

事務局 新型コロナウイルス感染症のために、集まったの会議が難しいということであれば、Web会議や書面会議について検討したい。

吉野委員長 第2回委員会は、やり取りがあり書面開催は難しいのではないかと考えている。今、県庁の一部会議もWeb会議を想定する形で、規定を作ったり開催方法を考えたりしている。この会議が、どうあるべきか。来られない方だけでも、Web会議で参加できるようにした方が良い。

事務局 開催方法について、検討させていただきたい。

吉野委員長 県外の委員もいることから、委員が参加できる環境をできる限り作っていくことが大事である。県庁の各会議でも導入されている。

武田副委員長 欠席の委員の評価（点数）は、反映されないこともある。

吉野委員長 会議は出席を前提としており、遠隔であっても参加できるような配慮があった方がよい。

事務局 Web 会議の環境を整えられる公共施設が限られていることから、開催方法については検討させていただきたい。

吉野委員長 県庁4階特別会議室で貸していただく等、少ない委員で構成されているので、全委員が参加できるように御検討いただきたい。

第2回委員会では、指定管理者との直接的なヒアリングが実施を経て、最終評価を実施する。あとは、従来通りということである。

#### （４）その他 新型コロナウイルス感染予防対策の取組について

（事務局から参考資料2により説明）

##### 【質疑応答】

吉野委員長 会議室の予約状況は、かなり落ちたのか。

指定管理者 5月は9割減、その他の月も半分位の利用となっている。緊急事態宣言や県内で感染者が確認された際にキャンセルが増える傾向がみられる。

会議室の利用の際には、利用者に協力いただきながら安全に利用できるようにしている。

成田委員 サーモグラフィについて、利用者が素通りされている場合がある。動線が分かりづらい、視界に入らない方もいる。場所を変えるのは難しいと思うが、動線を分かりやすく表示する等があれば。

事務局 電源及び様々な方が利用している施設であることから、視聴覚に障がいがある方などの動線確保に配慮する必要があることから、現在の設置場所となっている。誘導看板等、様々な表示について工夫していきたい。

武田副委員長 他施設のサーモグラフィカメラでは、近くに人を配置しているところもある。人件費等の課題もあるだろうが、せっかく整備したものであるので効果的に運用する必要がある。

事務局 今後、アイーナで陽性者が出た場合の対応について、マニュアル等はあるのか。

アイーナ内の職員や利用者の感染が確認された場合の、連絡体制等について定めて共有している。利用者で感染が確認された場合については、今後、「もしサボ岩手」という、施設利用者が施設内に掲示されている QR コードを読み取って、同日に他の利用者で感染が確認された場合等に LINE で連絡がくるシステムを導入する予定としている。

武田副委員長 指定管理者が収入源となっている。指定管理者側に問題があるわけではないので、契約等で何か対応があるのか。

事務局 利用料収入の減少について、色々と検討しているところ。公の施設の安定した運営管理という視点から、対応する必要があると考えている。

吉野委員長 色々と工夫しながら運営しているということで、今後とも実効性のある形でお願いする。

県民の方も、ちゃんと検温していない利用者を見ることが続くと不満が生じてくることになる。みなさんが、自主的に検温していただけるよう最大限の工夫をしていただければと思う。

## 6 閉会